

令和3年度 地域自主活動グループ活動報告「板橋区の蝶を調査する会」

◆メンバー: 20名

◆活動状況

回数	開催日(曜日)	時間	参加者数	回数	開催日(曜日)	時間	参加者数
1	3月27日(土)	9:30~12:00	9	5	7月10日(土)	9:00~12:00	9
2	4月10日(土)	9:00~13:00	8	6	9月5日(日)	9:00~13:00	14
3	5月22日(土)	9:00~12:00	9	7	10月2日(土)	9:30~13:30	6
	23日(日)			8	11月6日(土)	9:30~12:30	9
4	6月5日(土)	9:00~12:00	12	9	12月4日(土)	10:00~13:00	11
	6日(日)						

3月~12月の毎月1回蝶の観察会を開催しました。今年は赤塚公園、赤塚城址、赤塚植物園・万葉薬用園、荒川河川敷、光が丘公園、石神井川沿いを観察しました。蝶の成虫の他生態(卵、幼虫、蛹)の観察も行いました。なお、今年度は、エコポリスセンターから「蝶の観察会」の委託を受け、コロナ感染拡大で5月の観察会は実施できませんでしたが、7月に「蝶の説明会」9月に赤塚城址周辺の観察会を実施しました。

◆1年間の観察結果

毎月の観察会の他にメンバーが個人的に観察を行っています。令和3年は板橋区内で61回の定点観察を行い(定例観察日以外にも会員個人が観察した観察データを加算しています)、49種類の蝶を観察しました。

令和3年度の観察結果の概要は次のとおりです。p.30の「図8 令和3年蝶の種観察回数」もご覧ください。

(注)年間に観察した蝶の種類別合計観察回数です。観察会でアゲハを3回観察しても種類としては「1」とカウントします。

(1)観察状況

- ヤマトシジミ、モンシロチョウ、アゲハ、キタキチョウ、コムスジが観察回数(注)の多い種類でした。
- 4月に光が丘公園・赤塚城址でヒオドシチョウを観察しました。
- 4月に荒川笹目橋他流でギンイチモンジセセリを複数頭観察しました。
- 赤塚城址・光が丘公園でウラナミアカシジミは観察できませんでした。
- 6月に光が丘公園で初めてホシミスジを観察しました。
- 7・8月に荒川河川敷でアサマイチモンジを観察しました。
- 9月~11月にかけて板橋区で初めてクロマダラソテツシジミを観察しました。

(2)区外観察

今年はコロナ感染防止のための外出自粛により、板橋区以外の観察はしませんでした。

◆活動風景(写真、イラストなど)(板橋区観察回数上位4種類)



ヤマトシジミ



モンシロチョウ



アゲハ



キタキチョウ

(偶産種・希少種)



ミドリヒョウモン



ギンイチモンジセセリ



アサマイチモンジ

(板橋区で初めて観察した蝶)



ホシミスジ



クロマダラソテツシジミ

◆その他(他の観察員に向けて一言、感想など)

板橋区の蝶の観察を始めてから16年が過ぎました。その間に56種類の蝶を観察しました(令和3年は2種類の増)。板橋区は緑が多く、また、荒川河川敷が存在することから観察できる蝶の種類が豊かです。温暖化の影響により観察できる蝶の種類が増えています。一方、河川敷の改修工事やグランド化、台風による増水により蝶の棲息する環境が変化し、観察できる蝶の数が減少することがあります。2年前の荒川の大増水による影響と思われるミヤマチャバネセセリ・ギンイチモンジセセリの減少はやっと回復の気配がうかがえました。一方、赤塚城址周辺に生息していたウラナミアカシジミは観察できませんでした。アカシジミやミズイロアナガシジミの観察回数も減少しています。ここ数年にわたり赤塚城址周辺のクヌギ・コナラの木が伐採されていますので、観察回数の減少につながっているようにも感じます。今後も注意深く観察していきます。これからも蝶の観察と同時に食草の分布等蝶の棲息状況を調べ、多くの方に板橋区の蝶やとりまく環境について知っていただくお手伝いをしたいと考えております。

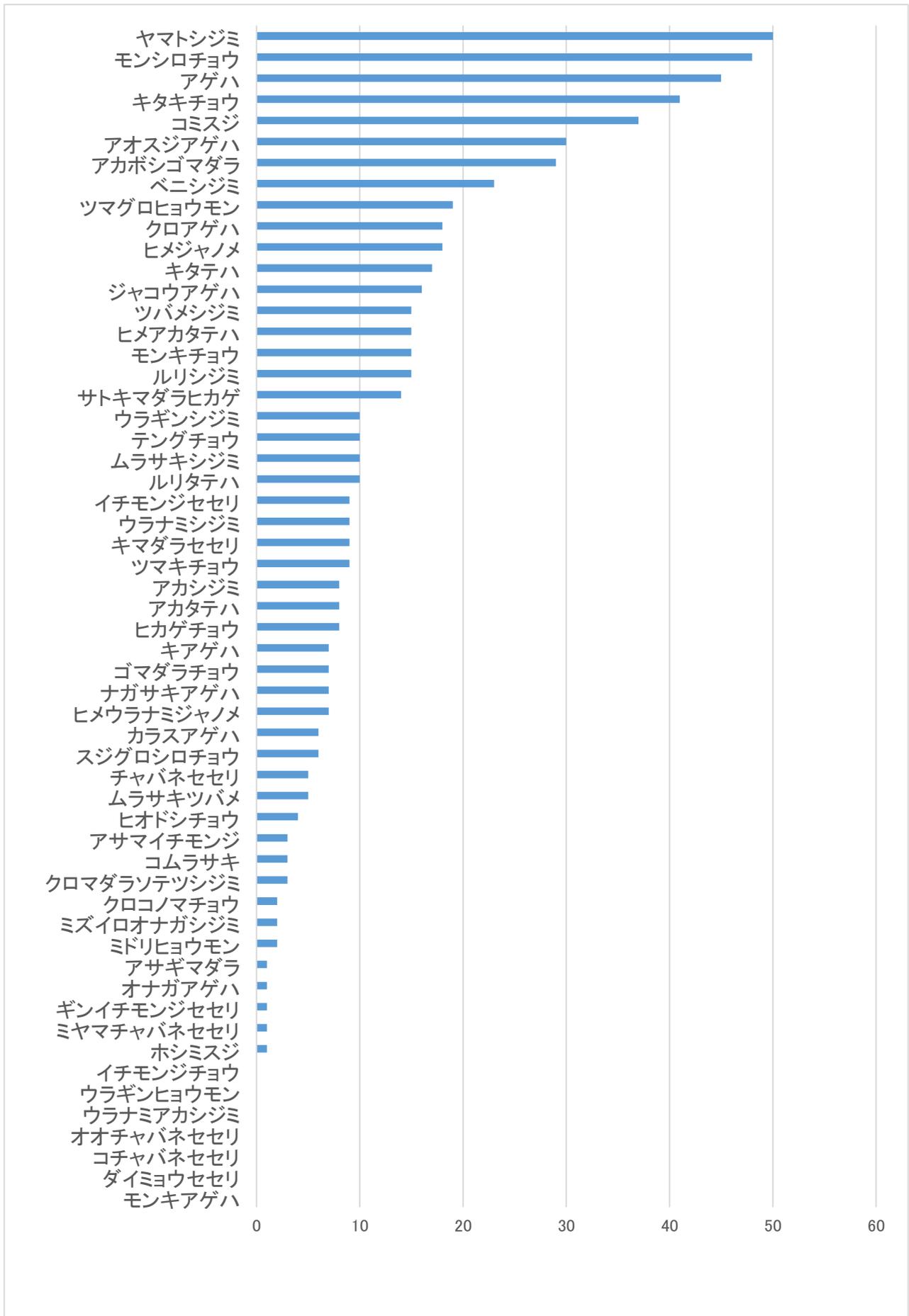


図 8 令和 3 年蝶の種観察回数